


平成31年 2月26日

三好市議会議長 殿

代表議員名 竹内 義了  印

平成30年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、
別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

代表議員名 竹内 義了

1 収入 (単位：円)

| 議員名 | 金額 |
|-------|---------|
| 千葉 清春 | 51,050円 |
| 並岡 和久 | 51,050円 |
| 天羽 強 | 51,050円 |
| 近藤 良仁 | 51,050円 |
| 伊丹 征治 | 51,050円 |
| 平田 政廣 | 51,050円 |
| 大浦 忠司 | 51,050円 |
| 高橋 玉美 | 51,050円 |
| 竹内 義了 | 50,994円 |

政務活動費計 459,394 円

2 支出 (単位：円)

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|----------|----|
| 調査研究費 | 459,854円 | |
| 研修費 | | |
| 資料作成費 | | |
| 資料購入費 | | |
| 広報費 | | |
| 広聴費 | | |
| 会議費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |

様式第5号（申し合わせ第5条関係）

旅費計算書

| | |
|-------|--------------------------|
| 出張期間 | 平成31年2月13日から平成31年2月14日まで |
| 出張先 | 東京都 衆議院第2議員会館 |
| 出張者氏名 | 竹内義了外8人 |

（内 訳）

| 区 分 | | 自 | 至 | 道程(km) | 金額(円) | 備 考 |
|-------------|--------|-------|--|--------|---------|---------------------|
| 鉄 道 賃 | 運 賃 | 羽田 | 羽田 | | 8,694 | 別紙(MySuica) ×9人分 |
| | 急行料金 | | | | | |
| | 座席指定料金 | | | | | |
| 船 賃 | | | | | | |
| 航 空 賃 | | | | | | |
| 車 賃 | 高速バス | | | | | |
| | タクシー | 都内 | 都内 | | 13,650 | |
| | 私用車 | 三好市役所 | 高松空港 | 48.2km | 17,200 | 4,300×4台 |
| | | | | | | |
| 宿 泊 料 | | 夜分 | 四国外1人あたり上限13,100円 四国内1人あたり上限11,800円 | | | 円 |
| 合 計 | | | | | 39,544円 | |

※交通費等(燃料代、高速道路使用料、駐車場使用料、自動車借上料)については、別途報告すること。

領収書

No 013

2019年02月14日
 車番 53
 運賃 1770円
 運賃料金計 1770円
 計 1770円

お忘れ物は当社まで

共栄交通株式会社

TEL: [REDACTED]

領収書

現.チ.ク

2019年02月14日

メーター運賃 ¥570円
 運賃料金計 ¥570円
 合計 ¥570円
 現金支払 ¥570円
 通行料金、他 円
 合計料金 円
 毎度ご乗車ありがとうございます。

渡辺タクシー

ドア番号 888

お忘れ物は

江戸川個人タクシー事業協同組合

TEL: [REDACTED]

お問い合わせは

(社) 東京都個人タクシー協会

TEL: [REDACTED]

ご要望は

(財) 東京タクシーセンター

TEL: [REDACTED]

高松空港駐車場 ②

TEL: [REDACTED]

領収書

お忘れ物

精算機 #02 A 精算No.000562
 券機 #06 発券No.054139
 入庫時刻 2019年 2月13日(水) 08:23
 出庫時刻 2019年 2月14日(木) 17:24
 駐車時間 1日 9:01
 駐車料金 A料金 1,600円
 計 1,600円
 現金領収額 1,600円
 お預り 2,000円
 お釣り 400円

2019年 2月13日
 02814817:23
 02813809:07
 駐車料金 1,400円
 現金領収額 1,400円

またのご利用をお待ちしております。

領収書

2019年02月14日 -006

メーター運賃 ¥1,690円
 運賃料金計 ¥1,690円

合計 ¥1,690円

《お支払内訳》

現金支払 ¥1,690円

毎度ご乗車ありがとうございます。

お忘れ物、お気付きの点は

東都東タクシー(株)

車両番号 000656

滝野川(営) TEL: [REDACTED]

無線配車センター TEL: [REDACTED]

ナビコード 5391-0144-5330

東都タクシー配車アプリ

Android / iPhone対応



領収書

(現金・チケット・クーポン・福祉)

日付 2019年02月14日
 車番 5436
 基本運賃 ¥1690円
 合計 ¥1690円
 (内消費税等 ¥125円)
 内訳
 現金支払 ¥1690円

通行料、他 円

上記正に領収いたしました。

ご利用ありがとうございました。

kmグループ 国際自動車株式会社 世田谷営業所

ガレリアM 201

お忘れもの、領収書に関するお問い合わせは TEL 03-3429-5396

お気付きの点、ご要望は

kmグループお客さま相談室

TEL: [REDACTED]

または <kmタクシーWEBサイト>

www.km-taxi.tokyo

<ナビコード>

A45-3343-9106

(営業回数 2191)

領収書

No 006

2019年02月14日

車番 922
 運賃 570円

運賃料金計 570円

計 570円

お忘れ物は当社まで

高円寺交通株式会社

TEL: [REDACTED]

無線タクシーのご用命は

東京無線タクシー配車センター

TEL: [REDACTED]

領収証

(チケット・カード・クーポン)

2019年02月14日

無線番号 1803号

乗車料金 ¥650円

計 650円

お忘れ物・お問合せは

カスタマーサポートデスクへ

TEL: [REDACTED] 平日9:00~17:00

日本交通 新木場営業所

TEL: [REDACTED]

GPS) 402-2644-460A

6940

高松空港駐車場 ①

TEL: [REDACTED]

領収書

精算機 #01 A 精算No.000580

券機 #06 発券No.054155

入庫時刻 2019年 2月13日(水) 08:45

出庫時刻 2019年 2月14日(木) 17:23

駐車時間 1日 8:38

駐車料金 A料金 1,600円

合計 1,600円

現金領収額 1,600円

お預り 2,000円

お釣り 400円

またのご利用をお待ちしております。

高松空港駐車場 ②

TEL: [REDACTED]

領収書

精算機 #02 A 精算No.000560

券機 #06 発券No.054130

入庫時刻 2019年 2月13日(水) 08:06

出庫時刻 2019年 2月14日(木) 17:22

駐車時間 1日 9:16

駐車料金 A料金 1,600円

合計 1,600円

現金領収額 1,600円

お預り 2,000円

お釣り 400円

またのご利用をお待ちしております。

領 収 書
(現金・チケット・クーポン・福祉)

日付 2019年02月13日
車番 2004
基本運賃 ¥570円
合計 **¥570円**
(内消費税等 ¥42円)
内 訳
現金支払 ¥570円

通行料、他 円
上記正に領収いたしました。
ご利用ありがとうございました。

kmグループ
国際自動車株式会社
板橋営業所

お忘れもの、領収書に
関するお問い合わせは
TEL 03-3967-0521

お気付きの点、ご要望は
kmグループお客さま相談室
TEL 03-3967-0521
または
<kmタクシーWEBサイト>
www.km-taxi.tokyo
<ナビ"ユート">
A44-1184-0222
(営業回数0090)

領 収 書
(現金・チケット・クーポン・福祉)

日付 2019年02月13日
車番 5231
基本運賃 ¥650円
合計 **¥650円**
(内消費税等 ¥48円)
内 訳
現金支払 ¥650円

通行料、他 円
上記正に領収いたしました。
ご利用ありがとうございました。

kmグループ
国際自動車株式会社
板橋営業所

お忘れもの、領収書に
関するお問い合わせは
TEL 03-3967-0521

お気付きの点、ご要望は
kmグループお客さま相談室
TEL 03-3967-0521
または
<kmタクシーWEBサイト>
www.km-taxi.tokyo
<ナビ"ユート">
A44-4634-0227
(営業回数5726)

No.7470

領 収 書

2019年02月13日
ドア番号 0103
運賃 ¥1770円

合計 **¥1770円**

(株)IKEDAコーポレーション
池田タクシー
TEL 03-3967-0521

領 収 証

(チケット・カード・クーポン)
2019年02月13日
無線番号 786号
乗車料金 ¥570円

計 **570円**
お忘れ物・お問合せは
カスタマーサポートデスクへ
TEL 03-3967-0521 平日9:00~17:00
日本交通 三鷹営業所
TEL 03-3967-0521
GPS)402-1044-098A

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.0198
日付 '19年02月13日
車番 000000 00
運賃 ¥1850円

運賃料金計 ¥1850円

合計 **¥1850円**

上記の通り領収致しました
通行料・その他
総合計

石崎タクシー
ドア番号: 25

お忘れ物は下記所屬団体へ

個人 東京都個人タクシー協同組合
新東京支部

平日9時~17時 Tel 03-3967-0521
時間外 Tel 03-3967-0521

お問い合わせは
(一社) 東京都個人タクシー協会 Tel 03-3967-0521
ご要望は
(公財) 東京タクシーセンター Tel 03-3967-0521

領 収 書

現・チ・ク・割引 No.3446
日付 '19年02月13日
車番 0317 000
メータ運賃 ¥650円

運賃料金計 ¥650円

合計 **¥650円**

上記の通り領収致しました
毎度ご乗車ありがとうございます

お忘れ物、ご要望は当社へ
日の丸自動車グループ

株式会社 三喜タクシー

世田谷区 03-3967-0521
TEL 03-3967-0521

タクシーのご用命は
TEL 03-3967-0521

領 収 証

(チケット・カード・クーポン)
2019年02月13日
無線番号 6652号
乗車料金 ¥650円

計 **650円**

日本交通グループ

お忘れ物は当社まで
飛鳥自動車株式会社
TEL 03-3967-0521
GPS)402-2444-119A

5710

領収証

No. _____

様 43/年 2月 12日

| | | | | | | | | |
|----|--|--|--|---|---|---|----|--|
| 金額 | | | | ¥ | 4 | 7 | 50 | |
|----|--|--|--|---|---|---|----|--|

内 但

消費税等

上記正に領収いたしました

| | | | |
|-----|--|--|--|
| 現金 | | | |
| 小切手 | | | |

HISAGO #778

徳島県三好市池田町
有限会社島崎風月堂
 代表取締役 島崎 鉄郎
 TEL. _____



領 収 証

No. _____

やまびこ会
 三好市国会、青空の会 様

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 金額 | | | | | | | | |
| | | | 百 | 千 | 円 | | | |
| | ¥ | 4 | 0 | 8 | 9 | 0 | 0 | - |

但し 旅行代金として

31年 2月 22日 上記正に領収いたしました

内訳

| | | |
|-------------------------------|-------|---|
| <p>収入印紙 日本政府 200円</p> | 現金 | ✓ |
| | 小切手 | |
| | 消費税額等 | |

有限会社フジヤマトラベル
 〒778-0003 徳島県三好市池田町
 TEL. _____ FAX. _____



完了



交通系ICカード

My Suica

残高

¥2,817

情報

ご利用明細

通知



最近のご利用明細

交通機関

¥483

浜松町駅 → 羽田空港第1ビル

5日前

交通機関

¥483

羽田空港第1ビル → 浜松町駅

6日前

¥ 966-

チャージ

+¥2,000

東京都大田区

2019/01/31

平成31年2月26日

三好市議会議長 立川 一広 様

竹内 義了

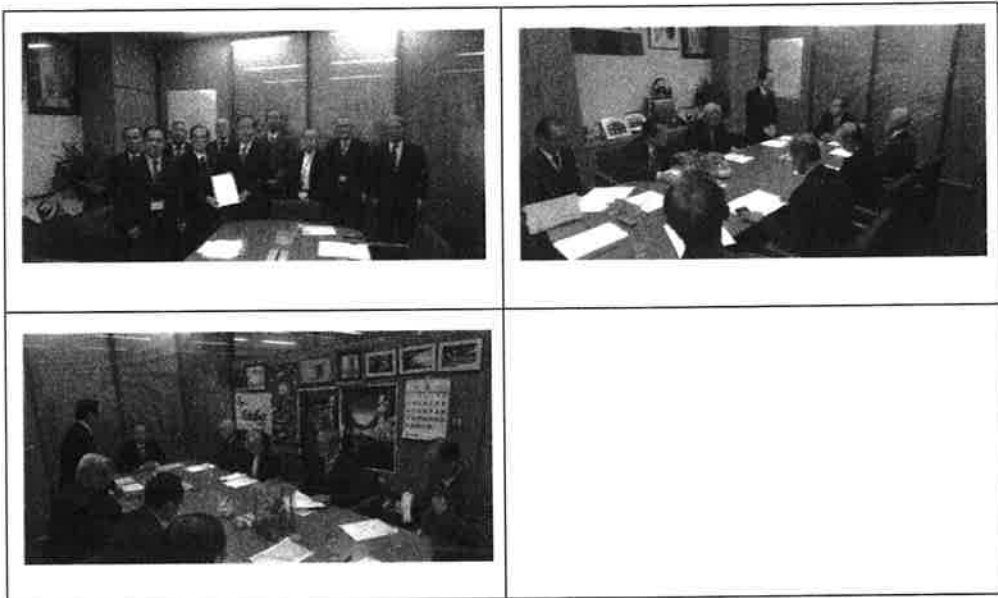


会派合同要望活動・研修報告書

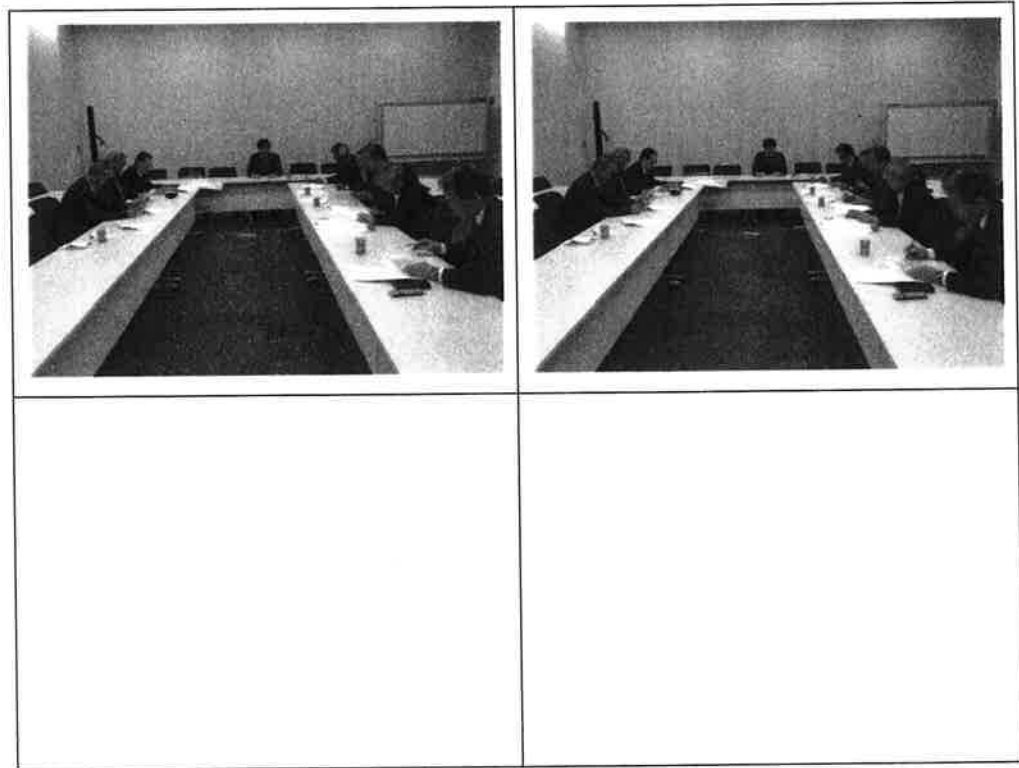
下記の通り、要望活動及び研修を行いましたので、概要についてご報告いたします。

1. 期間 平成31年2月13日(水)～14日(木)
2. 参加者 近藤良仁、天羽 強、並岡和久、千葉 清春
平田政廣、伊丹征治、大浦忠司、高橋玉美、竹内義了
3. 要望先及び研修項目
 - (1)衆議院議員 山口俊一殿 「地方創生の実現に向けた要望書」提出
 - (2)「道の駅」に関する研修会
4. 概要
 - (1)「地方創生の実現に向けた要望書」提出および意見交換
とき 2月13日(水) 15:30～16:00
ところ 衆議院第2議員会館 山口俊一事務所
別冊要望書を山口俊一衆議院議員に提出し、地方創生への財政的支援の継続、道の駅事業に対する配慮・支援について要望を行うとともに、地方創生の国の動向や三好市の取り組むべき課題等について意見交換を行った。
 - (2)「道の駅」に関する研修会
とき 2月13日(木) 10:30～12:00
ところ 衆議院第2議員会館 第5会議室
国土交通省 道路局 企画課 企画専門官 篠田 宗純さま

要望活動状況



「道の駅」研修状況



「道の駅」の目的と機能

「内子」
「川場 道の駅」

「おと 道の駅」

「草」
「山」
「水」

「道の駅」

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

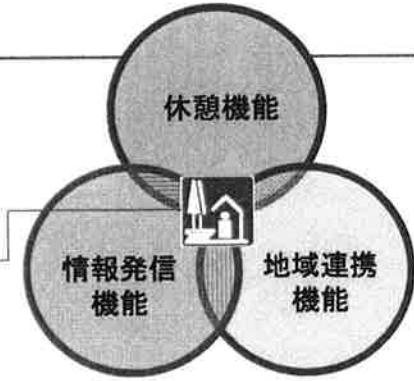
- 休憩機能** ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能** ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能** ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」

「道の駅」

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともに作る
個性豊かな
にぎわいの場



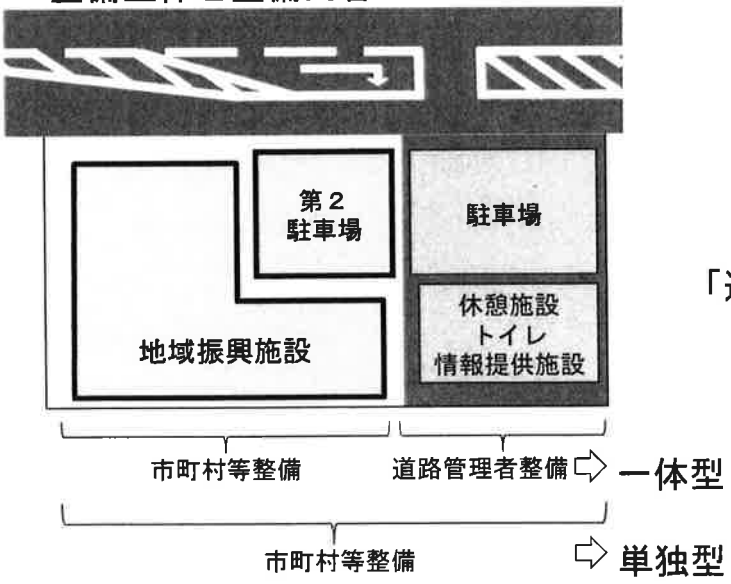
災害時は、防災機能を発現

ソフトウエア

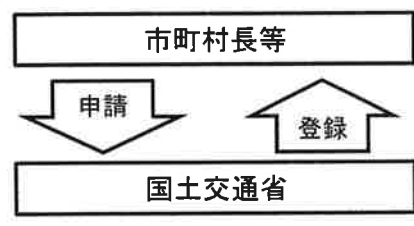
「道の駅」の設置者、登録方法

- 「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置
- 登録は、市町村長からの登録申請により、国土交通省で登録
- 整備の方法は、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類

整備主体と整備内容



「道の駅」の登録手続き



「道の駅」の登録数

平成30年4月25日現在
「道の駅」総数1,145駅
 うち一体型：624駅(54%)
 うち単独型：521駅(46%)

○休憩機能

- ・利用者が無料で24時間利用できる①十分な容量を持った駐車場、②清潔なトイレ(原則、洋式)、③子育て応援施設(ベビーコーナー等)

24時間利用可能 外国人

*受乳室
ベビーコーナー
24時間
24時間利用可能*

○情報発信機能

- ・道路及び地域に関する情報を提供(道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等)

○地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

○その他

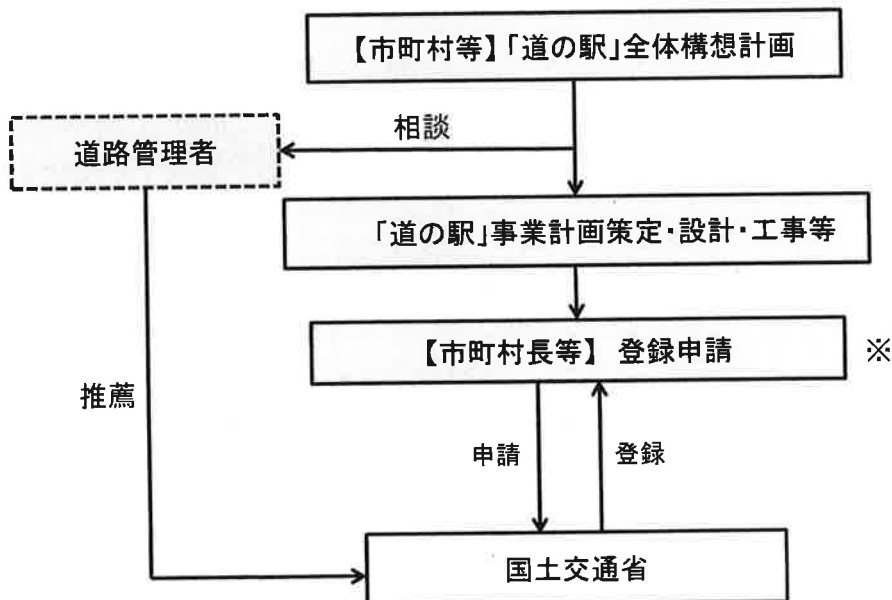
- ・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化

○設置者

- ・市町村又は市町村に代わり得る公的な団体※

※都道府県、地方公共団体が三分の一以上を出資する法人または市町村が推薦する公益法人

「道の駅」の整備フロー



※申請は、各地方整備局を經由

道路施設等

- ◆ 駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等 (基幹事業)
- ◆ 防災機能を有する施設: 非常用電源、防災資材倉庫、災害対応トイレ等 (効果促進事業)

→ ○ 社会資本整備総合交付金等 (国土交通省)

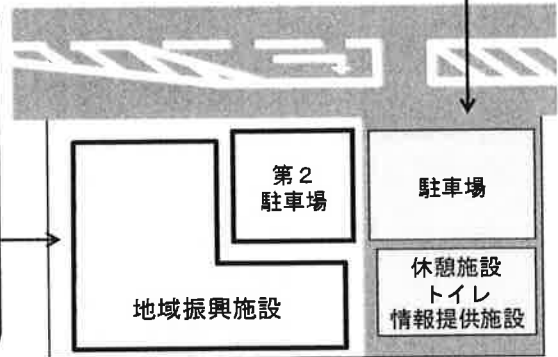
社会資本
交付金
wifi
整備対象
総務省
補助金

地域振興施設等

- ◆ 多様なサービスを提供する各種施設
: 地域振興交流施設、農産物直売所等

→ ○ 交付金等は、目的に応じて市町村
で検討

〈道の駅の構成施設〉



※あくまで主な整備財源の事例であり、様々な交付金・補助金等の組合せが考えられる。

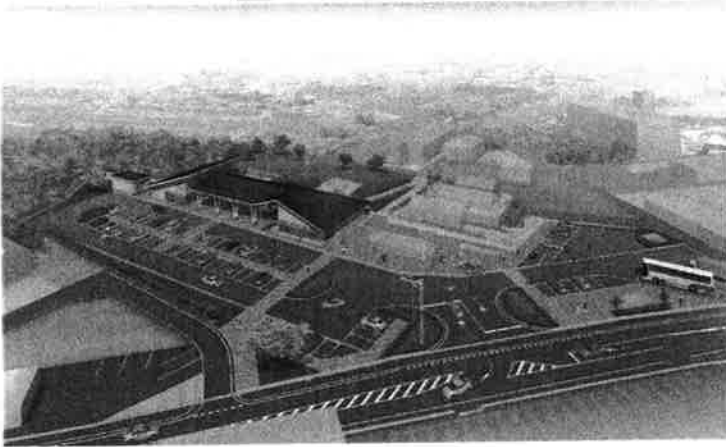
各府が補助金あり。

担当部署
県 相談し...
整備関係へ相談。

道の駅「みまの里」

- ◆路線名：主要地方道 なるといけだ 鳴門池田線 とくしまけん みまし みまちょうあざがんしょうじ
- ◆所在地：徳島県美馬市美馬町字願勝寺72番地
- ◆面積および施設等
 - ・面積：9,606㎡
 - ・施設：駐車場68台、トイレ14器、直売所、交流棟、飲食棟、防災倉庫棟
情報提供施設、交流広場
 - ・整備手法：一体型
- ◆オープン日：平成30年6月2日（土）
- ◆特徴
 - ・地元農林水産物の集出荷システムを活用した産地直売所の設置
 - ・地域野菜を活用した飲食棟（フードコート）の整備（6次産業化の推進）
 - ・地域防災機能の強化を目的に、防災設備を整備

イメージパース

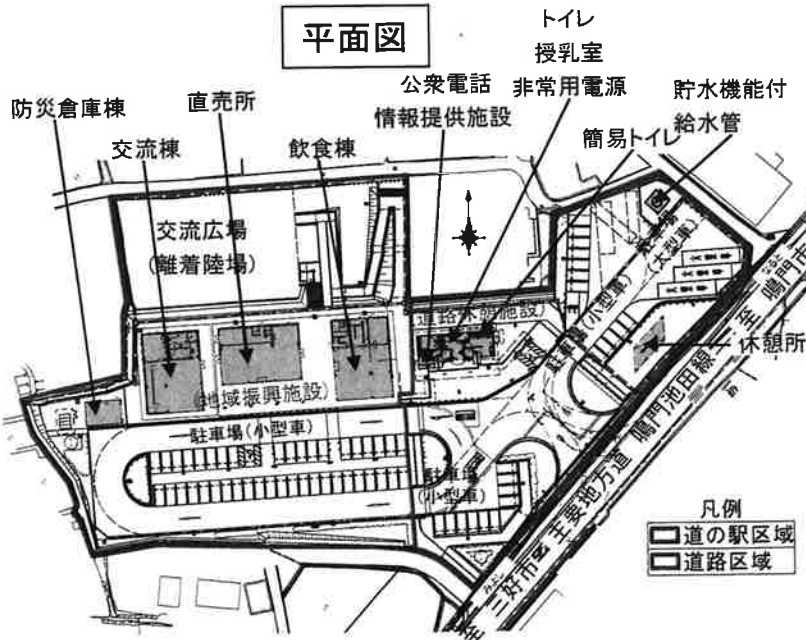


位置図



国土地理院の地理院地図に加筆したものである。

平面図



位置図



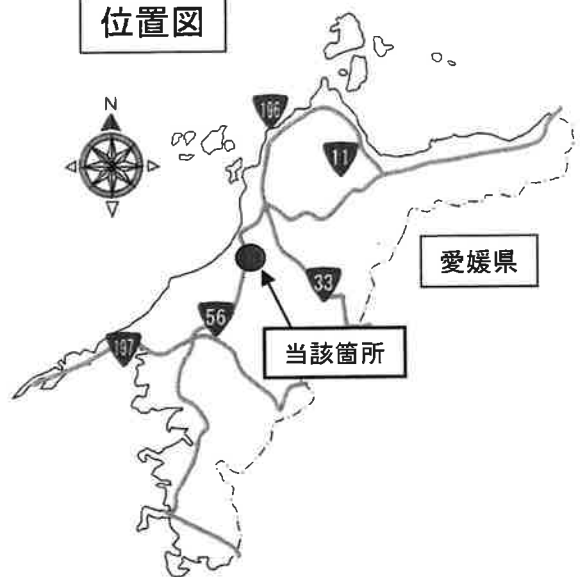
道の駅「なかやま」

- ◆路線名：一般国道56号
- ◆所在地：愛媛県伊予市中山町中山子271番地
えひめけんいよしなかやまちょうなかやまね
- ◆面積および施設等
 - ・面積：7,307㎡
 - ・施設：駐車場51台、トイレ18器、ウッドクラフトセンター、情報提供施設、そば打ち体験道場、木工体験道場、シャーベット・大判焼き売り場、休憩コーナー、自動販売機コーナー、防災備蓄倉庫
 - ・整備手法：単独型
- ◆オープン日：平成30年8月25日（土）
- ◆特徴
 - ・ウッドクラフトセンター内に、地元農産物の直売コーナーを設置。
 - ・そば打ち体験、木工体験などの体験型施設を設置。

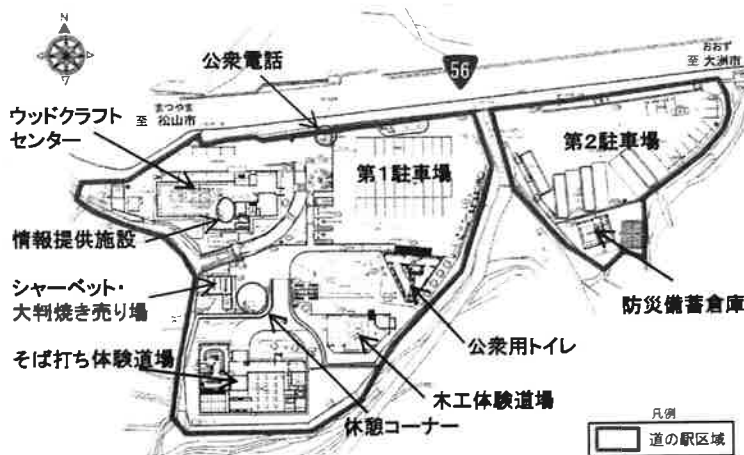
イメージパース



位置図



平面図



位置図



平成31年2月13日

衆議院議員 山口俊一 殿

地方創生の実現に向けた要望書

三好市議会議員

伊丹 征治 三木 和弘 大浦 忠司

平田 政廣 千葉 清春 天羽 強

並岡 和久 近藤 良仁 竹内 義了

高橋 玉美

平素は地方自治の発展、地域の活性化に向けた諸施策へ深いご理解をいただくとともに、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化が著しい本市では、国を挙げた地方創生の動きを踏まえながら、人口減少の克服と地域経済の活性化の取組を加速していくため、平成27年度から5か年の市の施策の方向を示す「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめ、様々な取組を行ってまいりました。

2017年にはラフティング世界選手権大会、2018年にはウエイクボード世界選手権が当市で開催され、世界から多くの人々にお越しいただきました。一連の取り組みは、スポーツ庁のweb広報マガジン「デポルターレ」で素晴らしい動

画で紹介され、三好市の魅力を世界に発信していただきました。

今後もこうした取り組みをより強めるとともに、地方創生の動きを加速化させ、さらに三好市の活性化を進めていかなければなりません。

つきましては、当市の実情を深くご理解いただき、地方創生のさらなる前進に向け、下記について、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 地方創生にかかる国の財政的支援について、引き続きの支援をお願いします。
ます。
2. 一般国道 32 号猪ノ鼻道路改良工事による 2019 年度発生分の残土の三好市池田町州津滝端地区（道の駅計画地）への確保についてご配慮をお願いします。
3. 三好市池田町州津滝端地区での「道の駅」事業について、当市では一体型での整備を想定しています。

新猪ノ鼻道路開通後、現在の国道 32 号線の道の駅計画地に接する部分の徳島県道への移管には数年の時間を要することも予想されるため、道路管理者との一体型整備の交渉先についてご配慮をお願いします。

◆コンセプト：“三方よし”で人生・生活の質（QOL）向上
 2拠点エリアでの、移住促進（移住者の受け入れ）を通じて
 ①「**移住希望者**」の自分らしいライフスタイル実現を支援！
 ②移住希望者を「**受け入れる地域**」が抱える課題を解決！
 ③「**三好市全体**」の地域力向上、持続可能なまちづくりを実現！
<特徴> ・「おとしサービス」充実
 ・「しごと交流」の促進
 ・「空き家」の再活用



- (1) 活躍の場の創出**
- 【主な取組内容】
 ○ミッションタウン（経験豊富な知識や技能等を有する「地域活躍人材」の発掘・誘致）
 ○ワンストップ支援窓口機能の設置
 ○大学等と連携した、起業・創業支援講座の実施
- 【進捗状況】
 ○地域活躍人材の獲得を目的に制度を構築し、地元企業と大都市圏等の人材をマッチング（H29年度～）
 ○地域交流拠点内に設置（中心市街地：H30.6月～、池田町津津：H31年度～）
 ○起業・創業支援プログラムについて関係機関と試行的実施（H31年度～）
- (2) 高齢者向け住宅等の整備**
- 【主な取組内容】
 ○戸建中古住宅の改修・マッチング支援
 ○サ高住の整備等
- 【進捗状況】
 ○改修・マッチングスキームの構築（H29年度）、試行的実施（H30年度）
 ○建設候補地及び整備計画等を検討（H30年度～）
- (3) 保健医療サービス、福祉サービスの提供体制の確保**
- 【主な取組内容】
 ○地域包括ケアシステムの構築
 ○「健康」支援サービスの構築
- 【進捗状況】
 ○「地域包括ケア会議」で「優先支援すべき」内容等を検討中
 ○健康・交流プログラムや実施体制等に関する計画策定（H29年度）、試行的実施（H30年度～）
- (4) 移住を希望する者の来訪及び滞在の促進**
- 【主な取組内容】
 ○お試し移住支援サービスの実施
- 【進捗状況】
 ○お試し住宅3棟整備、お試し居住コンシェルジュによる利用促進（H30年度～）
 ○体験プログラム構築及び大都市圏等との「しごと」移住に関する連携構築（H29年度～）

基礎データ

- ・人口：26,235人（H31.11月1日時点）
- ・H28.3 地方版総合戦略を策定、H28.8 三好市版CCRC構想を策定、H28.11 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定、H30.12 生涯活躍のまち形成事業計画を策定
- ①地方創生加速交付金/②地方創生拠点整備交付金（H28.第1回）/③地方創生推進交付金（H29.第1回、H30.第1回）④事業実施体制等構築/⑤地域交流拠点施設・お試し住宅整備/⑥受入体制整備、受入の試行的実施
- ・地域再生推進法人の指定状況 ①名称：社会福祉法人池田博愛会 指定時点：H29.2 役割：事業実施主体 / ②名称：一般社団法人三好みらい創造推進協議会 指定時期：H29.12 役割：事業実施主体

地元雇用型サテライトオフィス誘致の取組

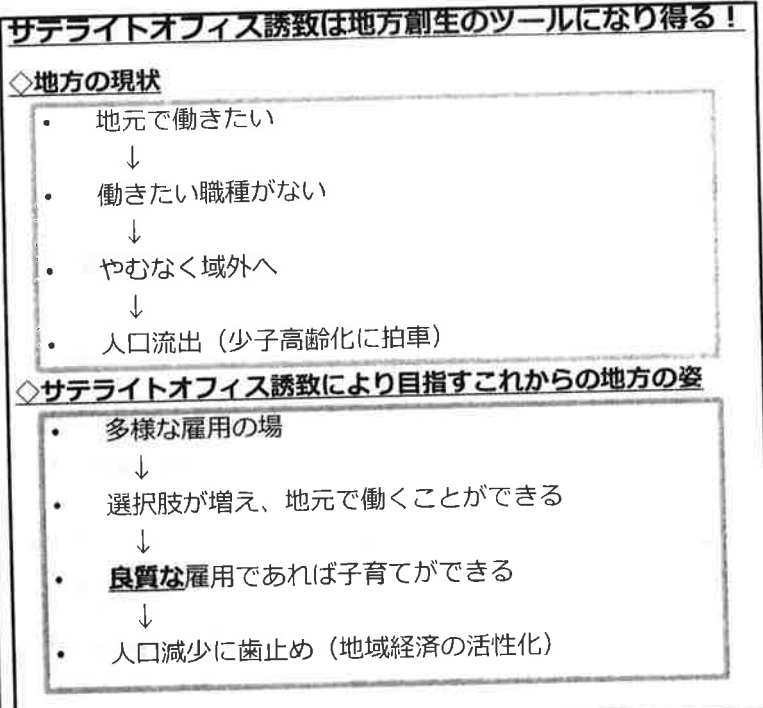
「公共事業投資」と「工場誘致」
 かつての地方は「公共事業投資」と「工場誘致」でなんとかやってきたし効果もあった。
 しかしながら、国地方合わせて1000兆円を超える債務を抱えていると言われている現在において、さらなる公共事業投資は望むべくもない。
 企業は製造拠点を海外に求めている現状を考えると、大型工場誘致も現実的でない。
 かつての二本柱が・・・

地元志向の高まり

- ・新卒者
マイナビの調査によると、「就活生の76%は地元志向。メガバンクより地方銀行の説明会に学生が集まる。」
- ・Uターン
ある調査によると、「都市部在住の地方出身者の50%はUターン希望、若しくはUターンに興味がある。」

なのに、なぜ
 地元志向が高いのになぜ人口が減るのか
 かつては受け皿となった工場誘致による雇用創出が見込めない

受け皿
 受け皿不足が人口減少要因の一つではないのか



企業と地方の課題

- 企業の課題
・ 優秀な人材の確保
- 地方の課題
・ 人口減少対策

サテライトオフィス誘致

WINWIN

2019.1.1現在 6社が市内に開設
 (株)あしたのチーム、(株)ハレとケデザイン舎、風の(株)、(株)ベアーズ、(株)ジェニオ、(株)イン・ザ・ゾーン

- 企業
・ 採用の選択肢が増える⇒採用戦略になる
- 地方
・ 良質な受け皿創出⇒人口減少対策⇒地域経済の活性化（地方創生）に繋がる

三好市人口ビジョン

<基本的考え方>
 ・人口減少の抑制と人口構造の適正化を基本。
 ・人口構造が異なる山間部と都市部に分け将来人口を展望。
 (2040年の段階で、山間部は、将来的な集落維持の担い手確保のため現状の「児童数」を維持。都市部は、人口構造の適正化を図るため、現状の「若年女性人口」の50%以上を維持。)

<総人口の推計>

| 年 | 三好市推計 | 社人研推計 |
|------|--------|--------|
| 2010 | 29,951 | - |
| 2040 | 14,116 | 13,745 |
| 2060 | 8,542 | 7,283 |

合併前の1955年(昭和30年) 77,779人がピーク

三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略

<三好市総合戦略 5本柱>

- ◇しごとづくり
- ◇ひとの流れづくり
- ◇出産・結婚・子育て支援
- ◇まちづくり

国まち・ひとしごとの創生方針

◇行財政の健全化

<交流人口→定住人口への獲得イメージ>

- 市ブランド戦略の構築
- ラフティング世界選手権等 P1 開催支援事業
- にし阿波DMO創設 ーなど
- 生涯活躍のまち構想 P2
- UIターン支援事業
- 国際姉妹都市交流事業 ーなど
- 起業・創業支援事業 P3 P4
- ワークライフバランスの促進
- 子育て支援事業等 P4 ーなど

まち 一人ひとりが夢や希望を持ち、
潤いある豊かな生活を安心して営むことができる場所を

ひと 地域で活躍し、地域づくりを担う人材

しごと 安定した雇用形態や相応の対価、やりがいのある仕事を増やす
特に若者にとって魅力ある“質の良い仕事”を増やす

吉野川ブランドの推進の取組 ～2つの世界選手権の開催～

P1

ラフティング世界選手権2017



■主催：国際ラフティング連盟、三好市 ■共催：日本レースラフティング協会、大豊町
 ■後援：スポーツ庁/観光庁/徳島県/読売新聞/徳島新聞/四国放送/エフエム徳島
 ■主管：三好市ラフティング世界選手権実行委員会 ■参加者：22か国、515人(71チーム) ■来場者数：19,300人

ウェイクボード世界選手権2018



■主催：WWAウェイクボード世界選手権大会組織委員会 ■後援：スポーツ庁/観光庁/国土交通省四国地方整備局
 ■公認：世界ウェイク協会(WWA) ■参加者：24か国、147人 ■来場者数：11,000人

起業・創業支援事業、子育て支援事業等の取組事例

働 く

就職促進事業補助金

【就職支援補助】

事業所補助 20万円（※30万円）

就職者補助 20万円（※30万円）

※東京圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）からのUJターン者



【家賃補助】（24ヶ月以内）

家賃月額額の2分の1以内（月額1.5万円を限度）

市内事業所に新卒者等（新卒者、UJターン者）が正規雇用された場合に新卒者等及び雇用事業主に対して補助金を交付。また、対象就職者が市内の賃貸住宅等に入居した場合に当該家賃の一部を補助する。
○UJターン者・・・三好市外に1年以上居住した後、市内に転入された40歳未満の方

起 業

創業補助金

外部資金の調達のある場合

上限100万円

外部資金の調達の無い場合

上限50万円

創業時に必要となる経費（マーケティング調査費等）の2分の1以内。



空き店舗等再生支援事業補助金

【改修費補助】

改修に要した経費の2分の1以内。上限150万円

【家賃補助】

家賃の2分の1以内。上限月額30万円。1年間。

創業セミナー

基本編と実践編から構成される創業セミナー

■商工政策課 0883-72-7645

住 ま い

改修補助金 ※

2分の1以内、限度額100万円

補助対象者：空き家の所有者又は移住者等

対象事業：売買又は賃貸借契約を締結した空き家の改修に要する経費（改修費20万円以上）

■地方創生推進課 0883-72-7607

木造住宅推進助成事業

1棟につき50万円の補助

三好市に居住する者が、三好地域の木材を使い、三好地域の入道が造った、新築(増築)の木造住宅。

■林業振興課 0883-72-7618



住まいの安全・安心なリフォーム支援事業

上限 150万円

木造住宅の耐震改修工事とともに行う省エネルギーおよびバリアフリー化に関するリフォーム工事について補助（リフォームのみは不可）

■管理課 0883-72-7681

乳児家庭保育支援給付金

乳幼児1人につき月額3万円

2人目以降は1人につき月額5千円を加算。（月齢が5か月を迎えた月から満1歳の誕生日の前月まで）

育児用品購入費補助

乳幼児1人につき、月額5千円（2歳の誕生日の前月まで）を基準に市内で購入した育児用品に対して補助

■子育て支援課 0883-72-7648

子 育 て



教 育

奨学金（貸与・無利息）

高等学校：6,000円～24,000円

高等専門学校：10,000円～30,000円

大学・短期大学・専門学校：22,000円～64,000円

三好市に継続して居住する場合の免除制度有り

中学生の給食費無償

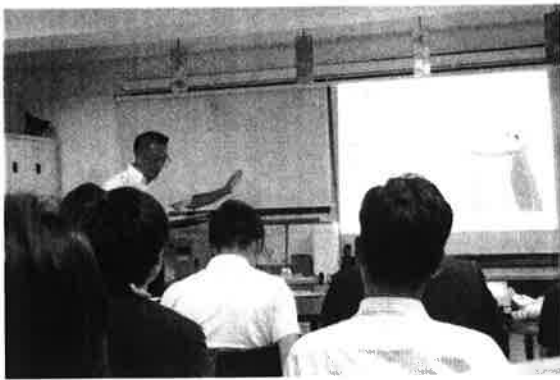
中学生の海外短期留学支援制度

■学校教育課 0883-72-3555



- | | | | | | |
|------------------------|-------------------|---------------------|----------|------------|-------------|
| 1 三好市主催の セミナーへ参加 | 2 現地研修への 参加 | 3 お試し勤務に トライ! | 開設 決定 | 4 開設手続き | 5 開設・開所式 |
|------------------------|-------------------|---------------------|----------|------------|-------------|

三好市主催のセミナーへ参加



市外（東京、大阪）でのセミナー開催状況（年3回程度を予定）

2 現地研修への参加

セミナー参加企業を中心に、現地視察ツアー（年3回を予定）を開催。
1日目：市の概況や支援制度の説明、廃校や空き家、市内SO視察
2日目：その都度ニーズに合わせたプランを用意。

3 お試し勤務にトライ

短期利用で「業務に支障がないか」「地域と合うか」をお試し勤務で確認。



民間施設



市有施設（真鍋屋）



4 開設手続き

- ・ 建庫庫からプレスリリース(同時にサテライトオフィス認定)
- ・ 開設1ヶ月前までに補助金申請、三好市がお手伝いさせていただきます。

5 開設・開所式

開設、開所式に際しても三好市がお手伝いさせていただきます。

市内での取組内容

三好市サテライトオフィス誘致HP及び真鍋屋指定管理者HPより引用



株式会社あしたのチーム



風の株式会社



株式会社ベアーズ

会社概要

About us

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 株式会社あしたのチーム |
| 所在地 | 〒778-0002 徳島県三好市徳島町イナズナ5(北沢島公園) |
| 設立 | 2013年3月 |
| 本社住所 | 〒778-0001 徳島県三好市徳島町イナズナ5(北沢島公園) |
| 設立年月 | 2013年3月 |
| 事業内容 | 企業研修施設 支援型 企業人材育成 企業を通じて自分たちの成長の力を を磨く企業向け 人材育成施設(ビル) |
| Webサイト | http://www.asita-team.co.jp |

会社概要

About us

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 風の株式会社 |
| 所在地 | 〒778-0007 徳島県三好市徳島町野島994(島津) |
| 設立 | 2013年10月 |
| 本社住所 | 〒778-0008 徳島県三好市徳島町野島994(島津) |
| 設立年月 | 2013年10月 |
| 事業内容 | 大浜 3階施設及びカサレ 延焼防止の計画 建設 増築 増築 3階 3階増築 |
| Webサイト | http://kaze-company.com |

会社概要

About us

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 株式会社ベアーズ |
| 所在地 | 〒778-0002 徳島県三好市徳島町イナズナ5(北沢島公園) |
| 設立 | 2014年11月 |
| 本社住所 | 〒778-0001 徳島県三好市徳島町イナズナ5(北沢島公園) |
| 設立年月 | 2014年11月 |
| 事業内容 | 企業研修施設 支援型 企業人材育成 企業を通じて自分たちの成長の力を を磨く企業向け 人材育成施設(ビル) |
| Webサイト | http://www.bears-beats.co.jp |

三好市サテライトオフィス誘致HPより引用

三好市「(仮称) 箸蔵道の駅」
基本構想

2018 (平成 30) 年 10 月
三好市

目次

第1章 はじめに

| | |
|-------------|---|
| 1.1 背景と目的 | 2 |
| 1.2 道の駅の概要 | 2 |
| 1.3 全国の道の駅 | 4 |
| 1.4 徳島県の道の駅 | 5 |

第2章 三好市の特徴と課題

| | |
|---------------------|----|
| 2.1 三好市の特徴 | 8 |
| 2.2 三好市を取り巻く社会情勢と環境 | 10 |
| 2.3 まちづくりの基本理念 | 12 |
| 2.4 三好市の取組み | 12 |

第3章 事業対象地について

| | |
|----------------------|----|
| 3.1 市の玄関口 | 16 |
| 3.2 池田町州津エリア | 17 |
| 3.3 周辺施設の立地（予定）状況の整理 | 18 |

第4章 基本方針

| | |
|------------------|----|
| 4.1 導入機能の整理 | 22 |
| 4.2 コンセプト | 24 |
| 4.3 整備手法 | 25 |
| 4.4 周辺整備予定施設との連携 | 25 |
| 4.5 親水空間の検討 | 25 |

第5章 管理運営手法

| | |
|---------------|----|
| 5.1 管理運営手法の整理 | 28 |
|---------------|----|

第6章 今後の進め方

| | |
|-----------------|----|
| 6.1 事業スケジュール | 32 |
| 6.2 実現に向けた課題の整理 | 32 |

第1章 はじめに

第1章 はじめに

1.1 背景と目的

三好市は、2015（平成27）年度に「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定し、地方創生策として観光産業を基幹産業の1つととらえるとともに、都市部からの移住者を受け入れ、人口減少の抑制と地域活性化を図ることを目標に掲げています。具体的には、市の南西部には祖谷のかずら橋や平家落人伝説の残る祖谷地区、名勝大歩危・小歩危、中心部にはうだつの町並みが残る池田・井川地区、北部には四国霊場第66番札所「雲辺寺」、香川金毘羅宮の奥ノ院「箸蔵寺」、市の中心部を流れる吉野川ではラフティング、南部では剣山系の腕山には四国最古のスキー場等市内あらゆるところで年間を通じて楽しむことができます。こうした資源を活かし三好市では「三好市まるごと観光」を掲げ、観光客の誘致を進めるとともに「生涯活躍のまち構想」を策定し、40歳以上のUIJターン者を積極的に受け入れ、移住を促し「三方（移住希望者、受け入れ地域、三好市全体）よし」の取り組みを実践しています。

本計画は、新猪ノ鼻道路と一般国道32号線のクロスポイント近くにある約1haの遊休地（市所有地）を活用して、地域の活性化を目的とした新たな観光スポット「（仮称）箸蔵道の駅」について地域課題や周辺状況に対応し、住民意向や利用者ニーズに沿った整備を計画的、総合的に推進するための基本構想とします。

1.2 道の駅の概要

■「道の駅」とは

長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路交通の円滑な「ながれ」を支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。また、人々の価値観の多様化により、個性的でおもしろい空間が望まれており、これら休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し多様で個性豊かなサービスを提供することかできます。さらに、これらの休憩施設が個性豊かなにぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されています。

こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生しました。

出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

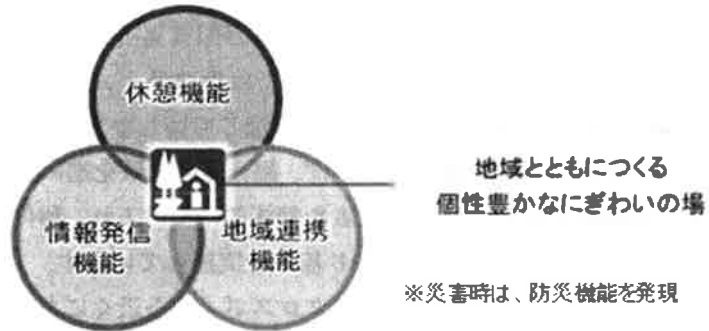
■「道の駅」の目的と機能

○目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域振興に寄与

○基本コンセプト

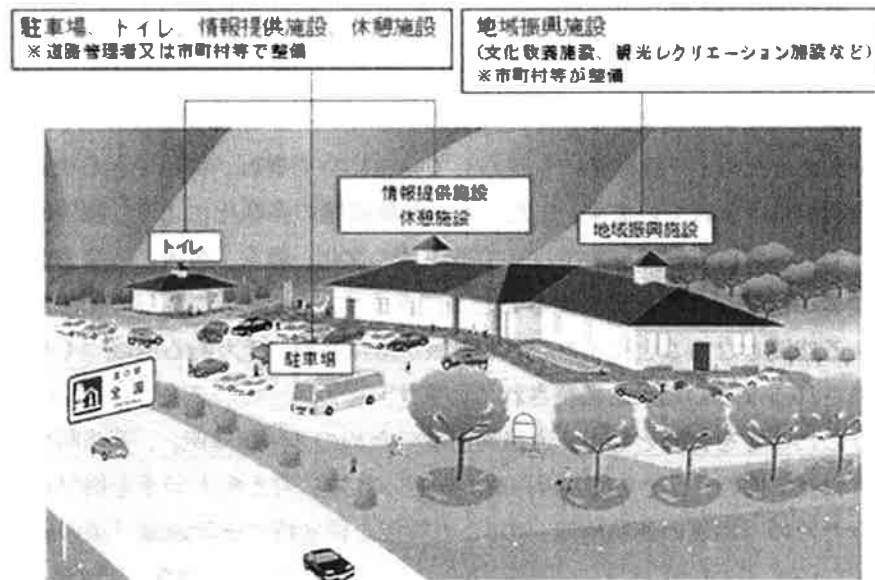
| | |
|--------|-------------------------------|
| 休憩機能 | ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ |
| 情報発信機能 | ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供 |
| 地域連携機能 | ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設 |



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

「道の駅」の基本コンセプト

■「道の駅」の施設配置



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

「道の駅」の施設配置

■「道の駅」の設置者、登録方法

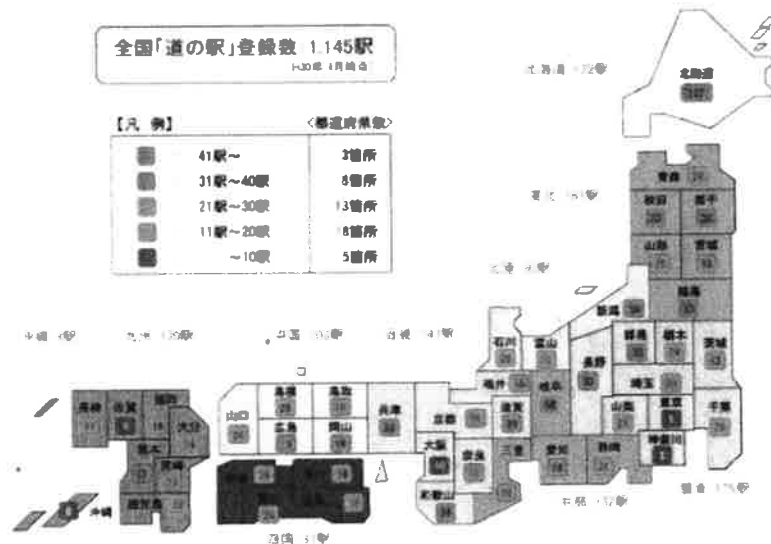
- ・「道の駅」は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置、登録は市町村長からの登録申請により、国土交通省で行います。
- ・整備の方法は、道路管理者と市町村等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類があります。

■「道の駅」の登録要件

- 休憩機能
 - ◇駐車場
 - ・利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場
 - ◇トイレ
 - ・利用者が無料で24時間利用できる清潔なトイレ
 - ・障がい者用も設置
- 情報発信機能
 - ・道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）
- 地域連携機能
 - ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
- 設置者
 - ・市町村又は市町村に代わり得る公的な団体
- その他配慮事項
 - ・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化

1.3 全国の道の駅

道の駅は、平成5年から登録を開始し、2018（平成30）年4月25日までに1,145駅が登録されています。下図に示す四国の4県では87の道の駅が登録され、徳島県の道の駅登録数は、16駅となっています。



出典：「道の駅」一覧/国土交通省

全国の「道の駅」

1.4 徳島の「道の駅」

県内の「道の駅」の立地状況は、以下のとおりです。



- | | | |
|------------|----------|------------|
| ① 貞光ゆうゆう館 | ② 萱の里 | ③ 穴喰温泉 |
| ④ となり | ⑤ にしいや | ⑥ わじき |
| ⑦ 公方の郷なかがわ | ⑧ もみじ川温泉 | ⑨ 温泉の里神山 |
| ⑩ 藍ランドうだつ | ⑪ 三野 | ⑫ 日和佐 |
| ⑬ 第九の里 | ⑭ 大歩危 | ⑮ ひなの里かつうら |
| ⑯ みまの里 | | |

出典：四国の道の駅/国土交通省（一部加筆）

徳島の「道の駅」

第2章 三好市の特徴と課題

第2章 三好市の特徴と課題

2.1 三好市の特徴

■自然的特性

本市は、徳島県の西端にあり、西は愛媛県、南は高知県、北は香川県に接して四国のほぼ中央に位置しています。

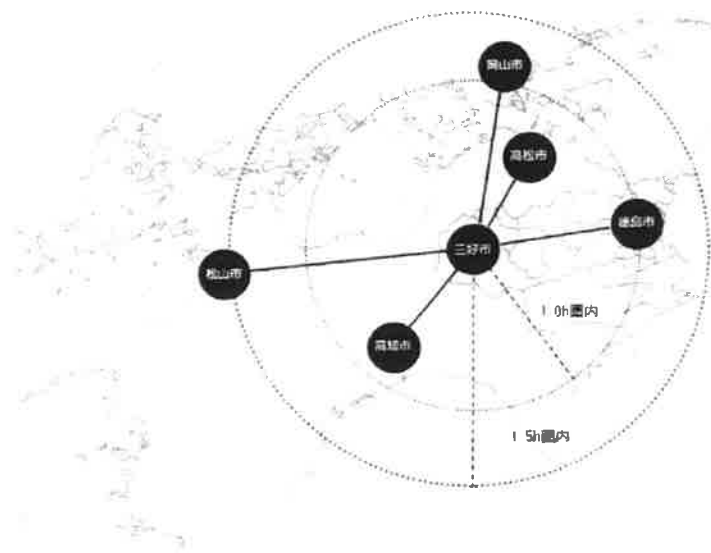
面積は721.42km²で、市町村では四国一の広い面積を有し、徳島県の17.4%を占めています。市域の大部分は丘陵並びに山地となっており、可住地は吉野川の沿岸部とその支流の谷合に点在しており、その面積は13.0%と低く、ほとんどが急峻な山地で形成されています。

四国三郎（しこくさぶろう）の異名を持つ大河吉野川が中央を通り、大歩危峡や黒沢湿原、紅葉の名所の竜ヶ岳、四国第二の高峰である剣山といった豊かな自然・名勝を有し、自然が織りなす四季折々の独特な風景は、日本でも屈指の美しい景観を形成しています。

■交通上の特性

本市における鉄道の状況は、東西方向にJR徳島本線が国道192号線と並行し、南北方向にJR土讃線が国道32号線と並行して走っており、池田地域にあるJR阿波池田駅が2路線の重要な乗換駅となっています。

また、主要な幹線道路としては、東西に連絡する国道192号線、主要地方道鳴門池田線、徳島自動車道、南北に連絡する国道32号線があり、古くから四国中央地域の交通の要衝となっています。なお、2020年度の開通が予定されている新猪ノ鼻道路（国道32号線）は、延長の80.0%がトンネルとなるため、異常気象や積雪時の通行、救急搬送ルート確保など、安全・安心な人・物の流通向上が期待されています。



出典：生涯活躍のまち構想・基本計画/三好市

四国中央地域における交通の要衝

■観光的特性

本市は、剣山山系を源とする祖谷川の源流から吉野川上流域までの広大なエリアで形成されており、自然公園として北部と中部の山脈沿いに「剣山国定公園」並びに香川県境一帯に「箸蔵県立自然公園」、高知県境に「野鹿池山自然環境保全地域」が徳島県により指定されています。

剣山国定公園には、溪谷の美しい急流で有名な大歩危・小歩危溪谷をはじめ、祖谷溪谷、剣山、三嶺などの観光拠点が含まれており、近年では、本市を訪れる外国人観光客も増加しています。

祖谷のかずら橋、大歩危・小歩危溪谷の遊覧船、うだつのまち並み、東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区、剣山には、春から秋にかけての観光シーズンを中心に多くの観光客が訪れます。また、市街地中心部で開催される「いけだ阿波踊り」等の伝統的な催しが充実し、井川地域南部の腕山スキー場、大歩危・小歩危溪谷のラフティング、剣山登山、急峻な山岳コースのなかで行われるサイクリングイベント「ツール・ド・にし阿波」の開催など、観光・スポーツ体験のまちとしてもにぎわっています。

また、ウォータースポーツのまちを目指すなか、2017（平成29）年には日本初となる「ラフティング世界選手権2017」が開催され、2018（平成30）年には「ウェイクボード世界選手権大会2018」が開催されました。



出典：生涯活躍のまち構想・基本計画/三好市

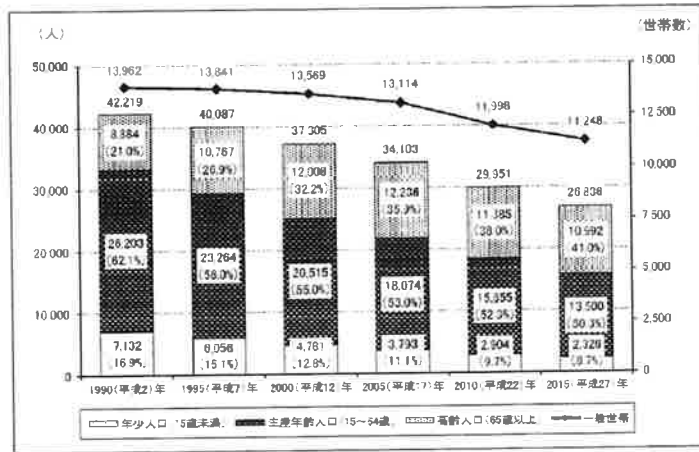
■都市的特性

本市は、古くから三好地域における政治・経済の中心地であり、現在においても県西部の中核として銀行、スーパー、商店街やバスターミナルなどの都市機能が集積しています。

さらには、地域医療、救急医療の中核となる県立三好病院をはじめ、市立三野病院など充実した医療機関があるとともに、高齢者に優しい施策や充実した子育て施策などハード・ソフト両面において、暮らしやすく利便性の高い、定住や移住に適したまちづくりが進められ、近年では移住者も増加してきています。

■人口・世帯数、就業構造の特性

本市の総人口は、2006（平成18）年の市発足以降減少を続け、国勢調査結果によると2005（平成17）年の34,103人から2015（平成27）年の26,836人と大幅に減少し、高齢化率も2005（平成17）年35.9%から2015（平成27）年41.0%と増加し、人口減少、少子高齢化が進んでいます。

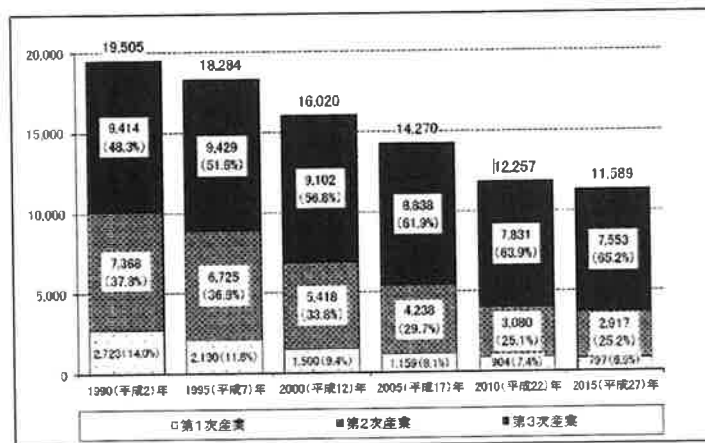


(単位：人、世帯数)

出典：第2次三好市総合計画/三好市

また、就業者人口は、減少を続けており、国勢調査結果によると2005（平成17）年の14,270人から2015（平成27）年の11,589人と大幅に減少しています。

産業別にみると、第2次産業、第3次産業において就業者数の減少が大きくなっていますが、第3次産業の構成割合は65.2%と伸びてきています。



(単位：人)

出典：第2次三好市総合計画/三好市

2.2 三好市を取り巻く社会情勢と環境

■人口減少・超高齢社会の進行

本市の総人口は、大幅に減少しており、人口減少、少子高齢化という喫緊の社会課題に重点的・継続的に取り組み、持続性を確保していく必要があります。

■産業・経済のグローバル化

日本の原風景が広がる祖谷地域などを訪れる外国人旅行者が増加している状況にあります。今後は「東京オリンピック・パラリンピック」、「関西ワールドマスターズゲームズ 2021」などの開催を受け、国内外の旅行者の増大が見込まれ、国際的な観光地としての受入環境の整備や体制を整えることに加え、観光を中心とした産業面での経済波及効果が得られるように取り組む必要があります。

■地球環境との共生

本市は、豊かな自然環境を有するまちであり、自然環境や自然景観の保全は本市の優先すべき課題の一つとなるため、ごみの減量化や分別収集、景観条例の施行などに取り組み、環境の質の向上を目指した循環型社会の実現を進めていく必要があります。

■ICTの進化とライフスタイル

地域経済の活性化、社会保障費の増大、大規模災害対策などに対応するため、社会の様々な分野（農林業、観光、医療、教育、防災など）におけるICTやAI・ロボットの効果的な利活用が不可欠です。

■大規模な自然災害への対応

東海・東南海・南海の地震連動や中央構造線・活断層地震が危惧されていることに加えて、近年にも豪雨、土砂災害、豪雪などに見舞われていることから、自然災害への防災・減災対策は重要な施策として取り組む必要があります。

また、被災時の迅速な対応や復旧に向けて、他自治体と相互の支援協力や連携強化への取り組みが必要といえます。

■持続可能な地域づくり

人口減少により共助の担い手不足の進行、地域力の低下、空き家の増加などの地域課題を抱えており、日常生活における移動手段の確保など定住促進に向けた施策に取り組むことで、持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。

2.3 まちづくりの基本理念

三好市における様々な特色を踏まえ、次のまちづくりの基本理念を第2次総合計画全体に浸透させ、長期的な展望に立ったまちづくりを進めています。

自然が生き活き、人が輝く交流の郷 三好市

～あふれる笑顔と未来のために～ 2nd action

自然が生き活き（人に誇れる故郷づくり）

本市の抱える豊かな自然、多くの歴史文化遺産、恵まれた観光資源などを新しい発想で見直し、新たな創造のもと「自然と人が生き活き」と暮らしていけるまちづくりを目指します。

人が輝く（活力ある故郷づくり）

住民と行政が心を一つにした地域づくりを推進し、「自らの地域は自らの手で」を活動方針とし、住民一人ひとりが生き活きと輝く協働のまちづくりを目指します。

交流の郷（第二の故郷づくり）

地方での「スローライフを楽しむ」「自己実現型」のライフスタイルが求められているなか、新たな定住と交流を育み、本市全体の活性化につながる交流の郷づくりを目指します。

出典：第2次三好市総合計画/三好市

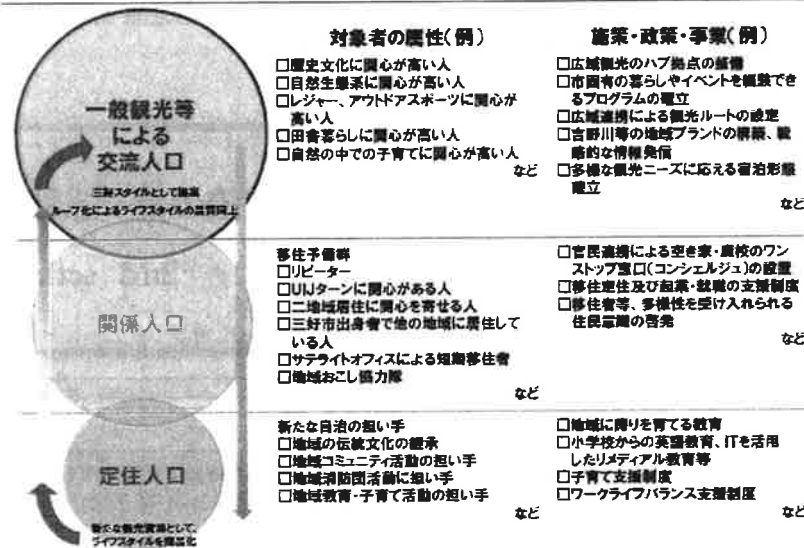
まちづくりの基本理念

2.4 三好市の取組み

■三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2040年の市の人口目標である14,000人超の確保（三好市人口ビジョン）に向け、国の基本方針に基づき「自然増」と「社会増」の両面から様々な施策を盛り込んだものです。三好市の将来像として「訪れてよし・触れてよし・住んでよし」笑顔創生・三好を掲げ、官民が連携して地方創生を推進することとします。人口減少への対応には、転出者を抑制し転入者を促進させることにより、人口減少に歯止めをかけ、将来的に人口構造の適正化と、持続可能なまちづくりを推進することが重要であり、「働く場を創る」「ひとを呼びこむ（人の流れ）」「結婚・出産・子育ての希望を叶える」「安心な暮らしを守り、地域をつなぐ（まちづくり）」「未来に「ツケ」を残さない（財政健全化）」の重点プロジェクトに積極的に取り組むこととしています。

交流人口⇒関係人口⇒定住人口への移行イメージ



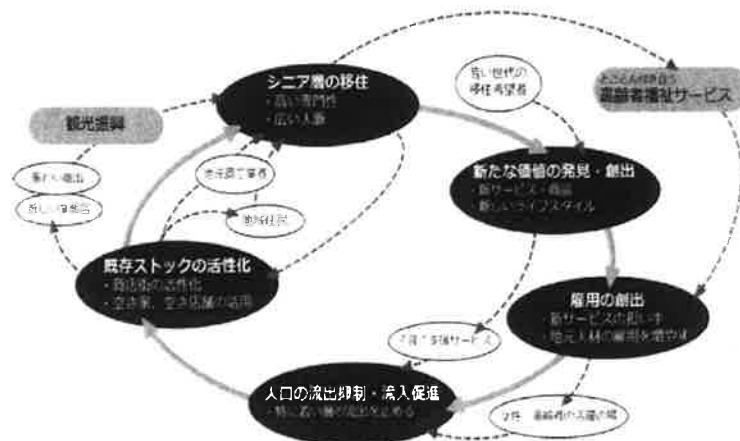
出典：三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略/三好市

三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略

■生涯活躍のまち構想

都市圏等に住む40歳以上（50代のプレシニアを中心）を対象とした自らの知識や経験、ノウハウにより三好市での活躍を希望する移住希望者を主たる対象として、①「移住希望者」の自分らしいライフスタイル実現を支援し、②移住希望者を「受け入れる地域」が抱える課題の解決を図り、③「三好市全体」の地域力向上、持続可能なまちづくりを実現する「三方（移住希望者、受け入れ地域、三好市全体）よし」の取り組みを実践していきます。

移住希望者は、多様な形態をもちながら本市に関係し、既存市民と交流し協働するなか、新たなサービスやライフスタイルの発見・創出に取り組む。この取り組みが雇用の創出を生み、その雇用の創出が人口流出の抑制や人口の流入を促進する。そして、人の流れを呼び込むことで、地域資源を活用した新たな付加価値の創出につなげる好循環の確立を目指します。



出典：生涯活躍のまち構想・基本計画/三好市

生涯活躍のまち構想の好循環サイクル

第3章 事業対象地について

第3章 事業対象地について

3.1 市の玄関口

新猪ノ鼻道路と一般国道32号線のクロスポイント近くにある約1haの遊休地（市所有地）を活用して、地域の課題や周辺状況に対応し、住民の意向や利用者ニーズに沿った地域の活性化を目的とした新たな観光スポットとして、また、市の玄関として「道の駅」を計画します。

■住所：三好市池田町州津

■面積：約1ha

■アクセス環境

- JR阿波池田駅から自動車利用で数分
- 徳島自動車道井川池田ICから1～2分
- 新猪ノ鼻道路開通により、香川県側からの移動が10分程度短縮

■通行量

- 現猪ノ鼻トンネル 平日4,700台、休日5,700台
- 国道32号線州津付近 平日7,500台、休日5,000台
- 徳島自動車道 井川池田IC付近 平日7,800台、休日9,900台、GW20,000台

■高松空港利用者数 [2017（平成29）年]

- 空港利用者数195.3万人（前年比5.3%増）
- 国内線 東京線154.5万人（前年比2.7%増）（羽田線と成田線の合計）
那覇線12.9万人（前年比4.8%増）
- 国際線 ソウル線6.6万人、上海線7.6万人、台北線7.4万人、香港線6.2万人
- 外国人入国者数 11.8万人

■徳島空港利用者数 [2017（平成29）年]

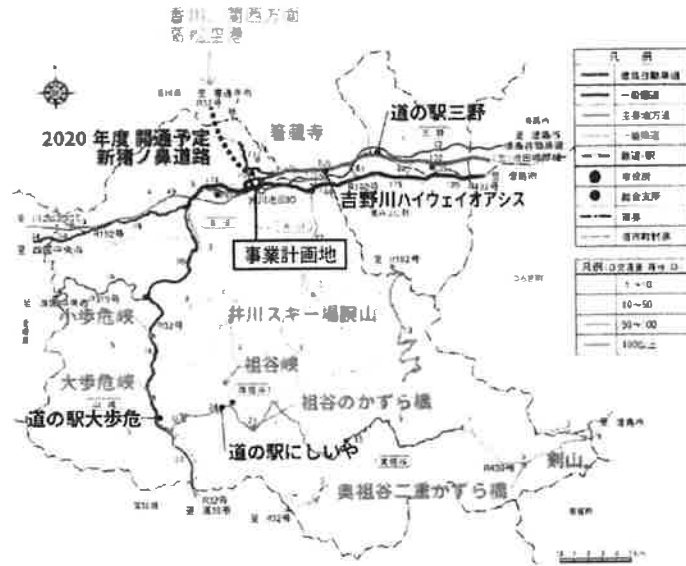
- 空港利用者数112.7万人（前年比5.2%増）
- 国内線 羽田線108.8万人（前年比4.9%増）
福岡線2.9万人（前年比2.0%減）

■香川県観光客 [2017（平成29）年]

- 延べ宿泊者数 375.8万人泊（前年比0.6%減）
- 外国人延べ宿泊者数 48.2万人泊（前年比34.6%増）
- 主要観光地入込数 514.8万人（前年比1.6%増）

■徳島県観光客 [2017（平成29）年]

- 延べ宿泊者数 229.8万人泊（前年比3.6%減）
- 外国人延べ宿泊者数 10.3万人泊（前年比48.0%増）
- 主要観光地入込数 325.3万人（前年比8.5%減）



出典：都市マスタープラン/三好市（一部加筆）

道路網図と主な観光地の位置関係

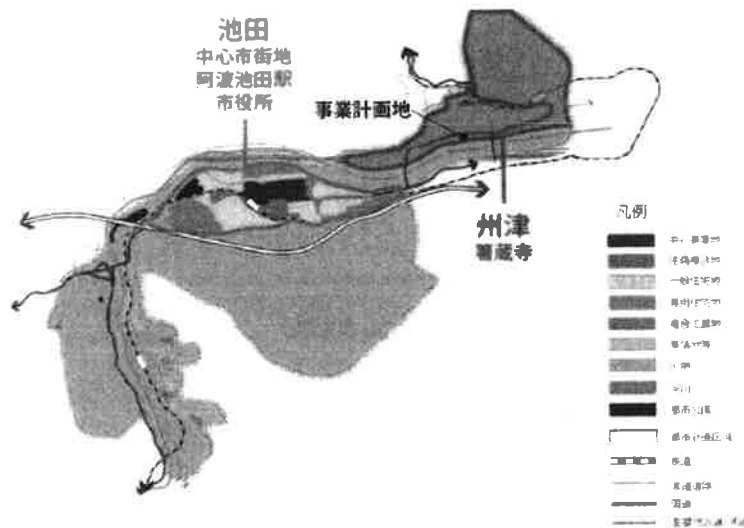
3.2 池田町州津エリア

事業計画地は、池田地域の都市計画区域内に位置しており、JR阿波池田駅を中心とした池田中心市街地の東側、州津エリアにあります。

州津エリアは、地域再生計画（三好市生涯活躍のまちづくり計画）に認定されており、地域力向上や持続可能なまちづくり（地域資源の活用、関係人口づくり等）の実現に向け取り組んでいます。



市域図



出典：都市マスタープラン/三好市（一部加筆）

都市計画区域との関係

3.3 周辺の施設立地（予定）状況の整理

事業対象地は、三好市池田町州津の吉野川に面して位置しており、本計画と同じ国道32号線沿いの事業計画地西側において、生涯活躍のまちづくり事業による地域交流拠点施設が計画されています。

また国道32号線を挟んだ反対側には、社会福祉法人が運営する福祉施設が点在しています。



Imagery (c) [2018] DigitalGlobe Inc., (c) 日本スペースイメージング

周辺の施設立地状況

■地域交流拠点施設（生涯活躍のまちづくり事業）

福祉の里で培われた「ほっとかない心」、「とことんの心」で、地域の拠り所や安らぎの場として暮らしを支えるとともに、「つくる、動く、なりわいが生まれる」をコンセプトに地域産業を支え雇用を生み地域経済の活性化や次世代につなぐ活動が取り組まれる拠点です。

以下、整備主体が検討している施設機能には、以下のようなものがあります。

○産直機能等

- ・産直市、地産地消、新鮮、こだわり商品の販売
- ・土産品、小間物店、福祉物産品（郷土手作り品）の販売
- ・生活用品の販売

○食品販売及び体験機能

- ・食堂 三好市健幸条例の基本理念に基づく健康食の提供
- ・パン（ブランド商品）の加工販売
- ・地域素材を使った加工体験など

○子育て支援機能（子育て世帯の交流促進）

- 暮らしサポート機能（買い物弱者支援、日常の困りごと支援）
- 移住を前提とした滞在・交流・福祉等の体験機能
- インキュベーション（起業支援活動）機能
- 多世代交流機能（移住者や住民との交流を目的としたカフェ）

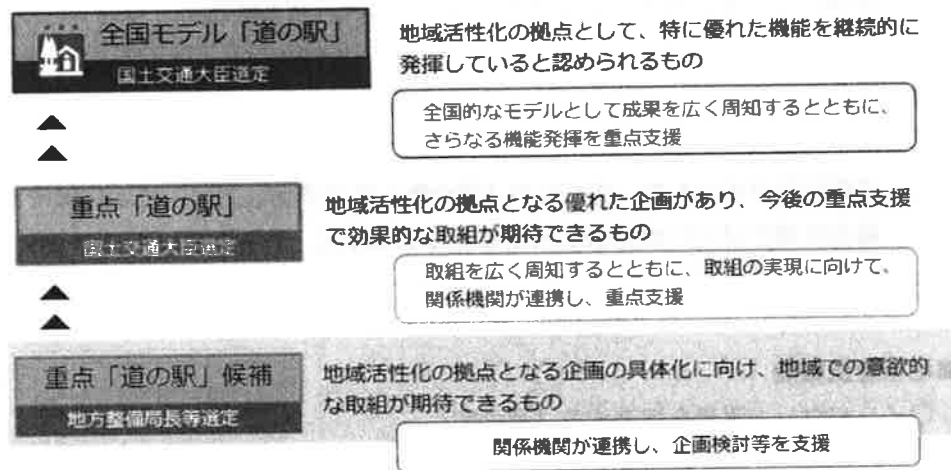
第 4 章 基本方針

第4章 基本方針

4.1 導入機能の整理

元々、ドライバーが立ち寄るトイレ・休憩施設として生まれた「道の駅」は、その数全国で1,000を超える中、それ自体が目的地となり、まちなの特産物や観光資源を活かしてひとを呼び、地域にしごとを生み出す核へと独自の進化を遂げ始めています。この進化する「道の駅」の機能強化を図り、地方創生の拠点となるよう導入機能の整理を行います。

こうした流れを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」や全国モデル「道の駅」を地域活性化の拠点となる先駆的なモデル箇所として選定することで、関係機関と連携して重点的に支援しており、本計画もこれらの選定を目指します。



出典：重点「道の駅」の選定について/国土交通省

重点「道の駅」、全国モデル「道の駅」

また道の駅は、地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」と地域の元気を創る「地域センター型」の2種類に大きく分かれます。本計画では、周辺施設との連携を考慮し、「ゲートウェイ型」のインバウンド観光、観光総合窓口、「地域センター型」の産業振興、防災の各機能を備えた複合型の道の駅とします。



出典：「道の駅」による地方創生拠点の形成/国土交通省

類型別機能

■休憩機能

○駐車場施設

- ・「道の駅」を訪れる利用者が駐車しやすい動線や駐車スペースの確保
- ・無料で24時間利用でき、交通量や施設利用者に対応できる十分な駐車区画数の確保
- ・十分な自転車、オートバイのための駐輪・駐車スペースの確保
- ・施設に隣接した障害者用駐車スペースの確保

○トイレ施設

- ・道路利用者が無料で24時間利用できる安全で快適なトイレの設置
- ・高齢者や障害者等を含む利用者すべてに配慮したユニバーサルデザイン

○休憩施設

- ・乳幼児を持つ子育て家族が安心して利用できる機能とスペースの確保
- ・長時間でも滞在できるようなリラックススペースの確保

■情報発信機能

○情報発信施設

- ・道路利用者をはじめ、すべての「道の駅」利用者が、周辺の交通状況や市内のイベント・観光情報のほか行政情報を入手できる情報端末、情報提供ブースの設置
- ・災害発生時、道路利用者や住民が状況等の情報を得るためのコンテンツの提供

■地域連携機能

○インバウンド観光を促進する「道の駅」

- ・多言語に応じた案内所や地域の特産品が購入できる免税店、無線LAN、海外対応ATMなど、外国人観光客のニーズが高いサービスの提供

○地域観光の総合窓口となる「道の駅」

- ・地域を訪れた人が最初に訪れるゲートウェイとなり、着地型観光の受入基地としての機能
- ・観光情報の提供とサービス利用等の手配が可能なワンストップ窓口として、地域資源のパッケージ化や地域の歴史・文化に触れる機会の提供

○地域の特産品を活かした産業を振興する「道の駅」

- ・そこでしか買えない農林水産品、流通ルートに乗らない少量産品など、地域産品の販売
- ・特産品の6次産業化を目指し、生産から加工工場の運営販売指導までを実施し、農林業の発展を支援

○災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」

- ・停電時に対応する非常電源装置、備蓄倉庫、ヘリポートなどを備えた防災拠点としての機能
- ・救命・救急活動、物資集配、住民避難、食料供給などの拠点としての機能

4.2 コンセプト

本市の地域特性や課題を踏まえ、「道の駅」の整備目的・必要性を実現するための整備コンセプト及び基本方針を設定します。

本市は、「千年のかくれんぼ」にし阿波観光への玄関口として、国内外から観光客が訪れるとともに、四国4県の交通の要衝「四国のへそ」として、各方面へアクセスしやすく、人やものが集まりやすい位置にあります。この位置条件を活かすことで、観光客、移住者（希望者）、住民が集まり、地域のにぎわいをつくる「道の駅」を目指します。



人ともものが集まり
地域の元気をつくる
四国のへその「道の駅」

■基本方針

〱 観光

○人と自然にふれあえる、にし阿波観光のゲートウェイ
自然、アウトドアスポーツ、歴史文化などの体験を中心とした、にし阿波観光への玄関口として、国内外からの観光客に対応する観光窓口機能を設けます。

また観光情報を国内外へ発信し、観光促進を図ります。

〱 移住

○交流人口づくりの起点となり移住へとつなぐゲートウェイ
観光による交流人口づくりの拠点となり、関係人口、定住人口づくりへとつなげる移住プロセスの流れの起点となることで、移住の促進を図ります。

〱 地域

○特産品や6次産業商品を発信するゲートウェイ
○安全安心の暮らしを支える防災拠点

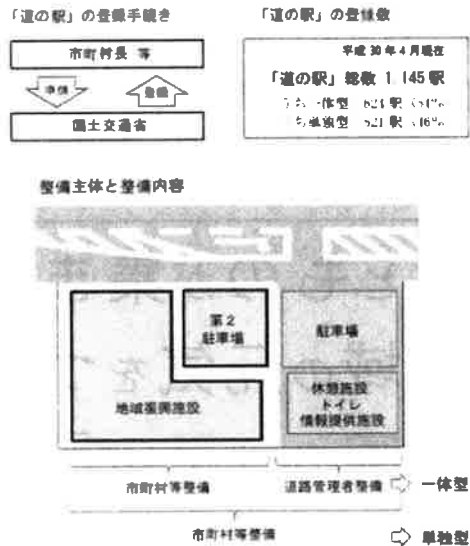
産直や加工品の販売、地産地消のレストランを設け、地域産業の活性化を図ります。またそれらの情報を全国へ発信し、知名度の拡大や、観光促進へつなげます。

防災機能を設け、住民が安心して暮らせる環境をつくります。

4.3 整備手法

「道の駅」の整備方法には、道路管理者と市町村等で整備する「一体型」と市町村等で全て整備を行う「単独型」の2種類があります。全国の「道の駅」の整備手法の割合は、一体型が624駅（54.0%）、単独型が521駅（46.0%）（2018（平成30）年4月現在）となっています。

本計画においては、「一体型」での整備を想定し、道路管理者等との協議及び調整を進めます。



出典：「道の駅」の目的と機能/国土交通省

「道の駅」の設置者、登録方法

4.4 周辺の整備予定施設との連携

本計画と同時期に国道32号線沿いにおいて整備が予定されている、「生涯活躍のまち地域交流拠点施設」など周辺（整備予定）施設との連携を図ることで、エリア全体でのにぎわいを図り集客へとつなげます。

また「道の駅」が観光窓口として交流人口づくりの起点となり関係人口づくり、定住人口づくりへとつなげる移住プロセスの流れをつくることで、移住の取り組みを実践していきます。

4.5 親水空間の検討

事業計画地は、鮎苦谷川と吉野川が交わる場所に位置しています。2つの川は地域の風土と文化の源泉であり、地域の骨格をなす多目的で多様な機能を有しています。

本市はウォータースポーツのまちづくりに取り組んでおり、川が有する多様な機能を活かした親水空間を利用することで、アクティブ層のみならず、訪れた人が気軽に水と触れられる場の形成を目指します。



Imagery (c) [2018] DigitalGlobe Inc., (c) 日本スペースイメージング

親水空間の検討

第 5 章 管理運営手法

第5章 管理運営手法

5.1 管理運営手法の整理

「道の駅」の整備・管理運営手法としては、市が施設を整備し、市で管理運営する「公設公営」方式と、市で施設を整備し、民間が管理運営する「公設民営」方式、民間が施設を整備し、管理運営を行う「民設民営」方式の3種類があります。

また、管理運営の手法には下の表に示す方式があり、管理運営を行う民間業者については、株式会社等の民間企業、公共団体と民間事業者の共同出資により設立された事業法人である第三セクターの場合があります。

全国に設置されている道の駅の殆どは、市町村が設置しており、管理・運営は、指定管理者等が主となっています。

| 手法 | 概要 |
|---------|--|
| 直営 | 行政が、直接的に管理運営を行う。 |
| 指定管理者制度 | 「公の施設」に対し、地方公共団体から指定を受けた指定管理者（民間企業やNPO等を含めた法人・団体）が管理を代行する。 |
| DBO | 民間事業者が施設の設計、建設、維持管理、運営の業務を一括で実施する。施設の所有、資金調達は公共が実施する。 |
| PFI | 施設の設計、建設、維持管理、運営、資金調達の業務を民間事業者のノウハウを活用し包括的に実施する。 |

管理運営手法の一例

○設置者種別

| 設置者 | 箇所数 | 構成比率 | 備考 |
|-----------|-------|-------|----|
| 自治体(市町村) | 985 | 98.1% | |
| 自治体(都道府県) | 6 | 0.6% | |
| 第三セクター | 8 | 0.8% | |
| 公益法人 | 5 | 0.5% | |
| 合計 | 1,004 | | |

○管理・運営者種別

| 管理・運営者 | 箇所数 | 構成比率 | 備考 |
|----------|-------|-------|------------------|
| 自治体 | 158 | 15.7% | |
| 第三セクター | 312 | 31.1% | |
| 財団法人等へ委託 | 89 | 8.9% | 観光施設管理協会、地域振興財団等 |
| 指定管理者等 | 445 | 44.3% | JA、民間会社等 |
| 合計 | 1,004 | | |

出典：「道の駅」について/国土交通省

道の駅 設置者・管理者別数

■管理運営者種別ごとのメリット・デメリット

| 管理運営者種別 | 自治体 | 第三セクター | 財団法人等への委託 | 民間管理者等 |
|---------|---|---|---|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政の直営 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政と民間の共同出資によって組成 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設管理協会、地域振興財団等 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業、NPO団体等の既存の組織 |
| メリット | <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営責任が明確 ・公益性や長期的なまちづくりの視点を持って、管理運営が可能 ・利用者の安心感、信頼が得られやすい ・運営主体が変わることがないため、ノウハウの蓄積・事業の継続性が担保される | <ul style="list-style-type: none"> ・公益性や長期的なまちづくりの視点を持って、管理運営が可能 ・地域の多様な人材が参加する運営が実施しやすい ・公共と民間の連携や意思疎通が図りやすい ・参画する民間の初期投資額を軽減することが可能 ・地域に新たな雇用を創出可能 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域としてまちづくりの視点を持って運営が可能 ・地場産品や地域資源に通じた運営が可能 ・地域に新たな雇用を創出可能 ・意思決定のスピードは第三セクターと比較すると早い | <ul style="list-style-type: none"> ・これまで培った運営能力、経営ノウハウ、専門知識を活かした管理運営が可能 ・既存事業の資本をベースとした資金調達力に優れている ・意思決定のスピードは早く、情勢等に迅速な対応が可能 ・農商工連携による取り組みの活性化が期待できる |
| デメリット | <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営のノウハウが少ない ・採算ベースの視点が薄れる ・迅速で柔軟な対応が困難な場合がある ・短い期間で担当職員が変わる、専門性を持った職員が配置されないことなどにより、事業のマンネリ化・機能充実等が図られない場合がある | <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定までに一定程度時間を要し、民間活力を十分に発揮できない可能性がある ・行政と民間の責任の所在等が曖昧になりやすい ・財政破綻事例においては、行政出資による危機感の不足や赤字の累積等が指摘されている | <ul style="list-style-type: none"> ・慣れない事業者の場合、管理運営のノウハウの不足や労務管理、財務管理面での不安がある ・委託契約の仕様に縛られる、許可権限がないことなどにより、柔軟な運営ができない場合がある | <ul style="list-style-type: none"> ・契約期間内の利益創出が前提となるため、長期的なまちづくりの視点が欠如する可能性がある ・収益性が重視され、公益性が軽視される懸念がある ・地域外の事業者の場合は、新たな地域の雇用や地域との連携が限定的になる可能性がある |

管理運営者種別比較表

第6章 今後の進め方

第6章 今後の進め方

6.1 事業スケジュール

- 2018年度……………基本構想、基本計画の策定
- 2019年度……………基本設計、実施設計
- 2020～2021年度…工事
- 2021年度……………「道の駅」申請、供用開始

6.2 実現に向けた課題の整理

■新猪ノ鼻道路との調整

国道32号線のうち本計画地に接する道路は、新猪ノ鼻道路開通（2020年）後に徳島県に移管される予定であることから、国及び県との調整が必要となります。

また、本計画では新猪ノ鼻道路工事から発生する土砂の搬入工程に合わせた盛土計画が必要となるため、道路工事を進める国との調整が必要です。

■「生涯活躍のまち地域交流拠点」との連携

国道32号線沿いには、「生涯活躍のまち地域交流拠点施設」の整備が進められており、2019年春にオープン予定です。この拠点施設と本計画の「道の駅」とは近くに位置するため、両施設の相乗効果が生まれるような連携のあり方の検討が必要です。

■親水空間の整備

「道の駅」予定地は吉野川沿いに位置し、ここからの川の景観や対岸の山の景観は、本施設の大きな魅力のひとつです。また、ウォータースポーツのまちづくりを掲げる本市では、眺めるだけでなく水に親しめる環境づくりも大きな特色となるため、魅力的な親水空間のあり方の検討が必要です。

■ハードとソフトの一体整備

観光・移住・地域のゲートウェイとしての「道の駅」基本方針実現のために、ハード整備と並行して、担い手の育成等ソフト面を含めた一体的整備の検討が必要です。

■プロジェクト段階から市内外への広報

市民や近隣住民、本市を訪れる観光客などに対して、プロジェクト段階から本計画や進捗に関する情報を発信することにより、「道の駅」に対して親しみや愛着を感じてもらえることとなります。より多くの人々に本計画を知ってもらえるよう効果的な広報活動のあり方の検討が必要です。